

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	eビジネス基礎(Basic Information for Business)	授業コード	P010351
担当教員名	坂井美穂	科目ナンバリングコード	P10103
配当学年	1	開講期	後期
必修・選択区分	必修	単位数	2
履修上の注意または履修条件	この科目で学習する内容は以後履修する情報メディア学科専門科目の基礎となる大切な内容が数多く含まれています。理解を確実なものとするために、授業以外の時間の予習復習も含めて、数多くの演習を行うことを勧めます。		
受講心得	授業中の私語は厳禁です。また、欠席・遅刻はしないように心掛けましょう。		
教科書	平成26年度 イメージ&クレバー方式でよくわかる栢木先生のITパスポート教室		
参考文献及び指定図書	講義内で指定します。		
関連科目	コンピュータ基礎、IT基礎		

授業の目的	本講義では、企業活動やマネジメント等の理解に必要な基本的な用語や基礎知識を学習します。将来、情報技術に携わる業務につく、もしくは担当業務に対して情報技術を活用していけるように、基礎的な内容を理解することを目的としています。
授業の概要	本学で基礎となる企業活動やマネジメント等について紹介します。講義はITパスポート試験の内容にそって進めます。毎時間、小テストを行い、理解を確認します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション 講義の進め方等について説明します。	第1-5週 (予習) 第8章 (宿題) 課題配布 第2-6週 (復習) 各課題の復習
第2週：第8章 マネジメント1 教科書p229- ソフトウェアライフサイクルについて学習します。	
第3週：第8章 マネジメント2 教科書p229- システム開発やテスト工程について学習します。	
第4週：第8章 マネジメント3 教科書p229- システムを開発する手法について学習します。	
第5週：第8章 マネジメント4教科書p229- プロジェクトマネジメントについて学習します。	
第6週：第8章 マネジメント5 教科書p229- サービスマネジメントについて学習します。	
第7週：第9章 企業活動と法務1 教科書p283- 企業会計について学習します。	第6-10週 (予習) 第9章 (宿題) 課題配布 第7-11週 (復習) 各課題の復習
第8週：第9章 企業活動と法務2 教科書p283- 知的財産権について学習します。	
第9週：第9章 企業活動と法務3 教科書p283- 標準化について学習します。	
第10週：第9章 企業活動と法務3 教科書p283- データ整理技法について学習します。	

第11週：第9章 企業活動と法務4 教科書p283- QC7つ道具とグラフについて学習します。		第11-14週 (予習) 第10章 (宿題) 課題配布 第12-15週 (復習) 各課題の復習
第12週：第10章 経営戦略とシステム戦略1 教科書p321- 企業活動について学習します。		
第13週：第10章 経営戦略とシステム戦略2 教科書p321- 経営戦略について学習します。		
第14週：第10章 経営戦略とシステム戦略3 教科書p321- 情報システム戦略について学習します。		
第15週：第10章 経営戦略とシステム戦略4 教科書p321- ビジネスインダストリについて学習します。		
第16週：期末試験 出題範囲についての理解度を確認します。試験は本講義の対象資格でもあるITパスポート試験の様式に従い選択形式で行います。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	①理由のない遅刻や欠席がなく、講師の話を傾聴することができる。 ②不明点について、積極的に質問し、理解を深めることができる。 ③本講義の基礎を定着させるために、自主学習を行うことができる。
<b>【知識・理解】</b>	企業活動やマネジメント等の理解に必要な基本的な用語や基礎知識を理解できる。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	
<b>【思考・判断・創造】</b>	専門の講義内容について基礎知識を利用して考えることができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点	10点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。	50点	10点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。	10点	10点		
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	各回の内容に対して理解度を深めるために、講義中に紹介した内容についての課題を出題します。必ず期限内に提出してください。期限を過ぎて提出された課題については減点します。
発表・その他 (無形成果)	授業に欠席・遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合に評価の対象とします。